

オール北海道で目指す 目標

中学校
国語編

本道の 中学校国語 調査結果

1 本道の課題となっている設問

領域	年度・設問	設問の概要	全国との差
話 く す	H23 A7 二	話合いの方向を捉えた司会としての質問を書く	※5 3. 7
	H22 B2 三	資料の修正の方法を選択し、修正の具体的なやり方とその理由を書く	- 1 0. 2
書 く こ と	H23 B1 三	二つの「ピクトグラム」を比べ、どちらを採用するかを理由とともに三文で書く	※3 4. 8
	H23 B2 三	本文を読んで分かったことを一つ取り上げ、Q & Aの形式で紹介する	※4 2. 4
	H23 B3 三	読みたい本を一冊選択し、その本を選択した理由を書く	※5 1. 0
	H22 A9 二	小学生に向けた案内文となるように適切な文を書く	- 4. 3
	H22 B2 二	提示する資料に、説明したい内容を簡潔に書く	- 7. 1
	H22 B2 三	資料の修正の方法を選択し、修正の具体的なやり方とその理由を書く	- 1 0. 2
	H22 B3 三	二つの表現に共通した面白さについて自分の考えを書く	- 1 0. 6
	H21 B1 三ア	子ども図書館案内図の工夫を生かして、学校図書館の案内図の郷土資料コーナーの見出しを書く	- 4. 9
	H21 B3 三	詩と組み合わせる写真を一枚選び、その写真と組み合わせる理由を詩と写真を関連付けて書く	- 6. 3
	H21 A1 一	主語に合わせて述語の部分を正しく書き直す	- 4. 6
	H20 B2 三	登場人物の行動を読み取り、付箋に整理して書く	- 3. 6
	H20 B2 四	登場人物が大切にしていると考えられることを四字熟語と関連付け、80字以上120字以内で書く	- 7. 0
	H19 A2 二	手紙の本文の書き出しの語を選択する	- 5. 0
	H19 A2 三	手紙の後付けの適切な書き方を選択する	- 4. 6
	H19 B2 三	「三」の場面の有無に関して、自分の考えを80字以上120字以内で書く	- 5. 4
	H19 B3 三	中学生が作成した広告カードと店員が作成した広告カードを比較し、違いを説明する	- 1. 6
読 む こ と	H23 B1 三	二つの「ピクトグラム」を比べ、どちらを採用するかを理由とともに三文で書く	※3 4. 8
	H23 B2 三	本文を読んで分かったことを一つ取り上げ、Q & Aの形式で紹介する	※4 2. 4
	H23 B3 三	読みたい本を一冊選択し、その本を選択した理由を書く	※5 1. 0
	H22 A8 一	「鳥とは違う」カモノハシの特徴を選択する	- 3. 9
	H22 B2 二	提示する資料に、説明したい内容を簡潔に書く	- 7. 1
	H22 B3 三	二つの表現に共通した面白さについて自分の考えを書く	- 1 0. 6
	H21 B1 三ア	子ども図書館案内図の工夫を生かして、学校図書館の案内図の郷土資料コーナーの見出しを書く	- 4. 9
	H21 B3 三	ひとまとまりのものとして捉えた複数の連の内容について適切なものを選択する	- 2. 2
	H21 B3 三	詩と組み合わせる写真を一枚選び、その写真と組み合わせる理由を詩と写真を関連付けて書く	- 6. 3
	H20 A5 一	事象（茶わんの湯気の渦の様子）について書かれた一文を本文中から探して書く	- 4. 2
	H20 B2 三	登場人物の行動を読み取り、付箋に整理して書く	- 3. 6
	H20 B2 四	登場人物が大切にしていると考えられることを四字熟語と関連付け、80字以上120字以内で書く	- 7. 0
	H20 B3 二	グラフから読み取れることの説明として、適切なものを選択する	- 1. 1
	H19 B2 三	「三」の場面の有無に関して、自分の考えを80字以上120字以内で書く	- 5. 4
	H19 B3 三(2)	中学生が作成した広告カードに共通して書かれている情報を二つ書く	- 0. 6
	H19 B3 三	中学生が作成した広告カードと店員が作成した広告カードを比較し、違いを説明する	- 1. 6
言 語 事 項	H23 A9 一 2	漢字を書く（祭りの日程をケントウする）	※2 8. 3
	H23 A9 三イ	適切な語句を選択する（旅行に備えて綿密な計画を立てる）	※3 5. 1
	H23 B1 三	二つの「ピクトグラム」を比べ、どちらを採用するかを理由とともに三文で書く	※3 4. 8
	H22 A10 七	行書の特徴の説明として適切なものを選択する	- 4. 0
	H21 A1 一	主語に合わせて述語の部分を正しく書き直す	- 4. 6
	H21 A8 一 3	漢字を書く（燃料をオギナウ）	- 1 2. 6
	H21 A8 三イ	適切な語句を選択する（鬼をおいはらうならわしは、今でも続いている）	- 5. 5
	H20 A6 一 1	漢字を書く（将来のことはソクできない）	- 8. 1
	H20 A6 一 2	漢字を書く（富士山をハイケイに写真を撮る）	- 7. 1
	H20 B2 四	登場人物が大切にしていると考えられることを四字熟語と関連付け、80字以上120字以内で書く	- 7. 0
H19 A8 二 2	漢字を読む（草木が整茂している）	- 8. 1	

※ H23 の設問は、全国との比較ができないため、平均正答率を掲載している。

☆ 上記の課題となっている設問から、今後の学習の基盤として重要な学習内容などを「重点的な取組が必要な学習内容など」として整理しました。

2 重点的な取組が必要な学習内容など

- 資料の提示の仕方を工夫し、その方法を説明すること
- 文章の内容や表現の仕方を捉え、自分の考えを根拠や理由を明らかにして書くこと
- 目的や意図、場、相手、条件などに応じて、適切に分かりやすく文章を書くこと
- 漢字を正しく理解し、文脈に沿って適切に活用すること
- 辞書に書かれている記述から、語句の意味を適切に捉えること

☆ 「重点的な取組が必要な学習内容など」の確実な定着のために、今後、北海道として迅速に定着を図る必要がある学習内容を分かりやすく「オール北海道で目指す目標」として次のように決めました。

3 オール北海道で目指す目標の設定

まずは、これから

第1期 国語「書くこと」の領域【平成24年3月～平成24年7月】

☆ 理由や根拠を明確にして書くことができるようにしましょう。☆

- ・全ての生徒が、各学年において「字数や使う言葉などの条件や制約に応じて、理由や根拠を明確にして書くことができるようにする」ために、指導事項を確認し、言語活動を通して、学習指導要領の内容が確実に身に付くよう授業改善を図りましょう。

授業改善のための各学年の指導のポイント

【各学年において指導する学習内容を確認しましょう】

□ 「B 書くこと」における「記述」に関する指導事項

第1学年

- 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと

第2学年

- 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと

第3学年

- 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと

【各学年において指導方法を工夫しましょう】

◇全校としての取組◇

- 字数や使う言葉を指定し、理由や根拠を明確にして書く活動を多く取り入れる。
- 100字、120字、200字など、様々な字数のワークシートや原稿用紙を準備し、書く活動において活用する。
- 自分の考えが効果的に伝わるか、表記や語句の用法や段落相互の関係は適切か、漢字を正しく使っているかなど、書いた文章を読み返し、文章を整える習慣を付ける。
- 抽象的な概念を表す語句や慣用句、四字熟語などを話や文章の中で適切に使用するような機会を充実する。

◇言語活動の充実◇

第1学年

- ・鑑賞したことを文章に書く
- ・図表を用いた説明や記録の文章を書く
- ・行事等の案内や報告をする文章を書く

第2学年

- ・詩歌をつくったり物語を書いたりする
- ・意見を述べる文章を書く
- ・社会生活に必要な手紙を書く

第3学年

- ・批評する文章を書く
- ・新聞やパンフレット、発表のための資料を編集する

* 参考：「学習指導要領解説国語編」言語活動例から

- 道教委では、平成24年度の全国学力・学習状況調査等から、「オール北海道で目指す目標」の定着状況を検証するなどして、新たに「重点的な取組が必要な学習内容など」を明確にします。

第2期 国語「読むこと（説明的な文章）」の領域【平成24年8月～平成25年1月】

文脈における語句の意味を的確に捉える

Follow-up A

■第1学年
「C 読むこと」(「語句の意味の理解」に関する指導事項)

1 課題となる問題を分析しましょう

4 次の文章は、「私」が子どものころの話です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。
(佐藤多佳子「五月の道しるべ」による。)

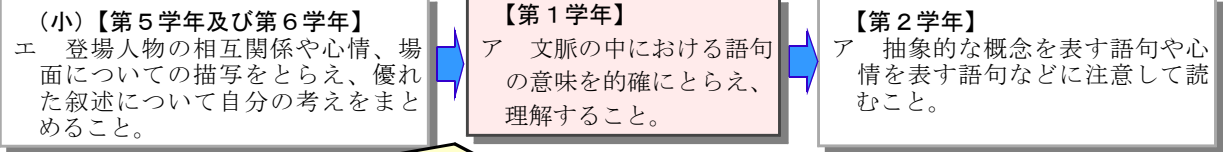
二 ——線部②「見とがめられる」とありますが、この言葉の意味として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 視線を離さないで見続けられる。
- 2 怪しいと見て問いただされる。
- 3 あなどって軽く扱われる。
- 4 立派だと感心される。

<出題のねらい>
この問題は、文学的な文章を読んで、文脈における語句の意味を的確にとらえることができるかどうかをみるものです。
ここでは、登場人物の内面が変化していく部分を取り上げ、文章の展開に即して、文脈における語句の意味について考えることが求められています。

<正 答> 選択肢 2
「見とがめる」の辞書的な意味は、「見て怪しむ。怪しいと見て問いただす。」です。ここでは、本文の文脈から判断して、「怪しいと見て問いただされる。」となります。

2 指導内容を確認しましょう *学習指導要領国語(平成20年告示)から



ア 語句の意味の理解に関する指導事項
・小学校第5学年及び第6学年の「登場人物の内面」の描写をとらえる学習を生かして、文脈の中における語句の意味をとらえたり、全体における語句の役割を考えたりすることについて定着を図ります。

3 指導のポイントを明らかにしましょう

☆ 文脈に即して語句の意味を的確にとらえたり、文章全体における語句の役割を考えたりできるようにしましょう。

第5学年及び第6学年では

- 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえることができるようにする
- ・登場人物の相互関係から人物像やその役割をとらえることによって、内面にある深い心情をとらえられるように指導する。
- 優れた叙述について自分の考えをまとめることができるようにする
- ・場面の展開に沿って読みながら、感動やユーモア、安らぎなどを生み出す優れた叙述に着目して自分の考えをまとめられるように指導する。

第1学年では

- 登場人物の言動の意味や心情を文章の展開に即して考えることができるようにする
- ・登場人物の言動の意味や心情を考えさせる際には、一つの叙述だけを手掛かりにするのではなく、前後の叙述を関連させて登場人物の心情の推移を読み取らせるように指導する。
- 語彙を豊かにする
- ・日頃から辞書を引いて語句の意味を確かめる習慣を身に付けることができるように指導する。
- ・前後の文章のつながりから語句の意味を推測するように指導する。

第2学年では

- 抽象的な概念を表す語句に注意して読むことができるようにする
- ・辞書を活用するなどして論の展開を追いながら理解することができるように指導する。
- 心情を表す語句に注意して読むことができるようにする
- ・読み手自身の体験や読書経験を生かしながら理解できるように指導する。

書く材料を集め、 自分の考えをまとめる

Follow-up A

■第1学年

「B 書くこと」(「課題設定や取材」に関する指導事項)

1 課題となる問題を分析しましょう

⑤ 国語の授業で、「大切にしていること」というテーマで文章を書いています。次は、青木さんが最初に書いた文章【A】と、それを読み返し、②段落を書き直した文章【B】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

一 青木さんは、②段落をどのように書き直していますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 先生や家族の話題を加え、自分の考えを伝えるための材料を増やしている。
- 2 全校集会の様子を詳しく描写し、その場の様子を思い浮かべやすくしている。
- 3 友達の言葉を多く引用し、自分の気持ちの変化を具体的に説明している。
- 4 比喩を用いて書き換え、自分が感じたことを分かりやすく伝えている。

<出題のねらい>

この問題は、文章を書く際に、身近な生活の中から課題を見付け、材料を集め、自分の考えをまとめることができるかどうかをみるものです。

ここでは、国語の授業で日常生活での出来事を基に、テーマに沿って書く場面を設定し、文章を書き表す際に、日常生活の中から材料を集め、自分の考えをまとめることが求められています。

<正 答> 選択肢 1

【A】の②段落では、自分を支えてくれたものとして友達の言葉や存在を挙げています。【B】では、全校集会での校長先生の話や担任の先生、家族などの存在が付け加えられています。このことから、自分の考えを伝えるための材料を増やしていることが分かります。

2 指導内容を確認しましょう

*学習指導要領国語(平成20年告示)から

(小)【第5学年及び第6学年】

ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。

【第1学年】

ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。

【第2学年】

ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。

ア 課題設定や取材に関する指導事項

・小学校第5学年及び第6学年の感じたり考えたりしたことから選択して書くことを決めるなどの目的や意図を設定した学習を生かして、日常生活で直接体験したことをはじめ、他教科で学習したことや興味や関心をもったことなど、書くための課題を決めて材料を集め、考えをまとめることについて定着を図ります。

3 指導のポイントを明らかにしましょう

☆ 何について、だれに向けて、何のために書くのかを具体的にするなど、書く目的を明らかにすることができるようにしましょう。

第5学年及び第6学年では

- 考えたことなどから書くことを決めることができるようにする
- ・ 家庭や地域、学校生活での学習などで感じたり考えたりしたことから選択して書くことを決めることに加え、いくつかのことを比較したり、関係付けたりしながら課題意識を明確にしていくように指導する。
- 目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して整理することができるようにする

第1学年では

- 文章を書く際には、伝えたいことを明確にもつことができるようにする
- ・ 自分の考えを的確に書き表すために、記述の段階で材料を付け加えるなど、文章の内容を見直しながら書くように指導する。
- 材料を集めながら自分の考えをまとめることができるようにする
- ・ 材料を集める段階において、本、新聞・雑誌、テレビ、コンピュータや情報通信ネットワークなどが活用できるように指導する。

第2学年では

- 「日常生活」から「社会生活」全般に広げ、課題を設定できるようにする
- ・ 人間、社会、文化、自然などにかかわる様々な課題を設定し、多様な方法によってそれに関連する材料を収集することができるように指導する。
- ・ 学校図書館や地域の図書館、公共施設などを利用した資料の収集ができるように指導する。

話し合いの方向を捉えて 的確に発言をする

Follow-up A

■第1学年 「A 話すこと・聞くこと」（「話し合うこと」に関する指導事項）

1 課題となる問題を分析しましょう

7 小学校六年生に中学校の様子をよく知ってもらうために、林さんたちは、中学校を案内することになりました。次は、案内する場所についての話し合いの一部です。司会は、林さんです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

林 教室のほかに、どこを案内するのがよいですか。意見を述べる際には、理由もあわせて言ってください。

山本 私は、学校図書館がよいと思います。本の数は、小学校よりとても多いし、種類も豊富だからです。また、週末は地域に開放しているの、訪れたことのある小学生もいるのではないのでしょうか。そういう意味では中学校に親しみをもってもらえる場所だと思うので、私は学校図書館を案内するのがよいと思います。

三上 中学校に親しみをもってもらえる場所を案内することには賛成ですが、小学校の学校図書館もけっこう広いし、本の種類も多かった気がします。それより校舎横の部室がよいと思います。部活動は中学校生活の大きな楽しみの一つですから。

林 つまり、三上さんの意見は、学校図書館よりも部室を案内した方がよいということですね。ほかに意見はありませんか。

中村 私は、部室を案内することには反対です。学校図書館については、図書委員会の活動も紹介できるので賛成です。

林

二 司会の林さんは、中村さんの発言の内容に不足があると思います。林さんは、中村さんにどのように問いかけるとよいですか。ここまでの林さんの発言を参考にして に当てはまる言葉を十字以上、三十文字以内で書きなさい。

<出題のねらい>
この問題は、話し合いをする際に、話し合いの方向をとらえて、的確に発言することができるかどうかをみるものです。
ここでは、小学校六年生に中学校の様子をよく知ってもらうために、どこを案内すればよいか司会を立てて話し合う場面が設定されています。司会者として話し手の発言で不足している内容を引き出すために問いかけることが求められています。

<正答について>
正答は、次の三つの条件を満たして解答するものです。
①部室を案内することに反対する理由を述べていることをとらえて
②中村さんに問いかける言い方、または中村さんの発言を促す言い方で書いている。
③十字以上、三十文字以内で書いている。

2 指導内容を確認しましょう *学習指導要領国語（平成20年告示）から

【第1学年】
オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

【第2学年】
オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。

オ 話し合うことに関する指導事項
・小学校第5学年及び第6学年の互いの立場や意図を明確にする学習を生かして、何について話し合っているのかをとらえ、自分の考えと比較して考えをまとめていくなど、建設的に話し合うことを重視する。

3 指導のポイントを明らかにしましょう

☆ だれと何について話し合うのか、何のために話し合うのかを理解し、今は何について話し合っているのかをとらえることができるようにしましょう。

第5学年及び第6学年では
○司会者や提案者、参加者などの役割に基づいて、立場や意図を明確にしながら計画的に話し合うことができるようにする。
・例えば、決められた時間内にまとめられるように、発言内容を簡潔にしたり、発言回数に注意したりすることができるように指導する。
・自主的な形による話し合い活動の場を多く経験することにより、徐々に学習した内容を生かしていくことができるように指導する。

第1学年では
○話し合いをする際には、相手の立場や考えを尊重する姿勢をもつことができるようにする。
○他の人の意見をよく聞き、どこが自分と同じでどこが自分と異なるのかを考えて、自分の意見を述べるようにする。
・対話や討論などの言語活動において、話の要点をメモしたり必要に応じて質問したりしながら、互いの共通点や相違点を整理することを通して、建設的な話し合いをするように指導する。
・討論のルールや形式、方法など、小学校で指導している既習事項を踏まえて指導する。

第2学年では
○目的に沿って話し合うことができるようにする。
・相手の立場や考えを尊重し、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりすることができるように指導する。
・互いの発言を検討して共通点や相違点を聞き分けたり、話題となっている物事について別の立場や視点から考えたりすることを通して、自分の考えを広げることができるように指導する。

書かれた情報を基に、 自分の考えを書く

Follow-up B

- 第2学年 B 書くこと (「記述」に関する指導事項)
- 第2学年 C 読むこと (「読書と情報活用」に関する指導事項)

1 課題となる問題を分析しましょう

三 浅井さんは、学校図書館のピクトグラムを作成しようと思い、その候補として次のアとイを考えました。あなたなら、どちらのピクトグラムを採用するのがよいと考えますか(どちらのピクトグラムを選んでもかまいません)。あなたの考えをその理由を、あとの条件1から条件3にしたがって書きなさい。



- 条件1 アとイのピクトグラムを比べて書くこと。
- 条件2 【ピクトグラムについて書かれた文章】の中にある、特徴や配慮についての言葉を使って書くこと。
- 条件3 三文で書くこと。

平均正答率 34.8% 無解答率 12.8%

<出題のねらい>

この問題は、説明的な文章と図との関係を考えながら、書かれている情報を基に、自分の考えを論理的に書くことができるかどうかをみるものです。

ここでは【ピクトグラムについて書かれた文章】の要点をとらえることと、とらえた内容と他の情報とを的確に関連付けて自分の考えを論理的に書くことが求められています。

<正答例>

アは、人が本を手取る様子だけで学校図書館を示しており、単純なデザインである。イは、本が乱雑に重なっていたり汗が出ていると不必要なものが描かれていて複雑である。だから、私はアを採用する。

<正答の条件>

次の条件を満たして解答している。

- ① 自分がどちらを採用するのかについて理由とともに明確に書いている。
- ② アとイのピクトグラムを比べて書いている。
- ③ 【ピクトグラムについて書かれた文章】の中にある、特徴や配慮についての言葉を使って適切に書いている。
- ④ 三文で書いている。

【主な誤答例】

上記の正答の条件のうち、③を満たさないで解答しているものが26.0%であり、文章の中からとらえた内容と他の情報とを的確に関連付けて自分の考えを書くことに課題があると考えられる。

【調査結果から見られる課題】

- 書かれている情報を基に、自分の考えを論理的に書くこと
- 字数や時間などの条件に応じて書くこと

2 指導内容を確認しましょう

*学習指導要領国語(平成20年告示)から

第1学年

- Bウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。
- Cカ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。

第2学年

- Bウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。
- Cオ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。

第3学年

- Bイ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。
- Cオ 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりすること。

「記述」に関する指導

- ・第1学年の伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書く学習を生かして、さらに具体的な記述の仕方について定着を図ります。

「読書と情報活用」に関する指導

- ・第1学年の本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取る学習を生かして、本や文章などから情報を得て考えをまとめることについて定着を図ります。

3 指導のポイントを明らかにしましょう

☆ 文章の要点をとらえ、とらえた内容と他の情報とを的確に関連付けて自分の考えを論理的に書くことができるようにしましょう。

■系統性を重視し、学年の段階に応じた指導方法の工夫

第1学年では

- 根拠を明確にして書くことができるようにする
 - ・文章の中の自分の考えや気持ちについての根拠が明確に書かれているかどうかを吟味することができるように指導する。
 - ・接続語の使用や段落構成の工夫などによって、読み手に対してどの部分が根拠であるかが明確になることができるように指導する。
- 目的に合った複数の資料を集め、集めた資料から必要な情報を読み取ることができるようにする
 - ・必要な部分を探して読むなど、資料の特性を生かした読み方ができるように指導する。
 - ・文章の中で必要だと思った部分に印を付したり、必要な部分を抜き書きしたりしながら読み進めることができるように指導する。

第2学年では

- 論理的な文章の書き方を身に付けることができるようにする
 - ・自分の考えとその根拠との関係を整理しながら、論理的で説得力のある文章を書くことができるように指導する。
 - ・論理の展開の仕方が明確になるように文章全体の構成を考えたり、分かりやすい記述の仕方を工夫したりすることができるように指導する。
- 複数のものを比べ、多様な見方や考え方を身に付けることができるようにする
 - ・複数のものを比較し、共通点や相違点を整理しながら物事のよさや特性を論じたり評価したりすることができるように指導する。

第3学年では

- 論理の展開を工夫し資料を引用することができるようにする
 - ・初めに自分の意見を述べ、それを裏付ける事実を示し、自分の意見の正当性、妥当性を示す書き方など、論理を考える場合の組立て方を基本に据えて論理の展開を工夫することができるように指導する。
 - ・説得力のある文章にするために客観性や信頼性の高い資料を選んで用いることができるように指導する。
- 知識を広げたり、自分の考えを深めたりするような継続的な読書ができるようにする
 - ・書き手のものの見方や考え方や自分のものの見方や考え方を対比させて新しい考え方を知ったり、自分の考えを再構築したりすることができるように指導する。

4 言語活動を充実させましょう

様々な条件や制約に対応しながら、理由を明確にして自分の考えを書くことができるよう、相手意識や目的意識など重視し、発達の段階に応じた言語活動を充実させることが大切です。

■重視する言語活動例

第1学年

- 関心のある芸術的な作品などについて、鑑賞したことを文章に書くこと。
- 図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。
- 行事等の案内や報告をする文章を書くこと。
- 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。
- 課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介すること。

第2学年

- 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。
- 社会生活に必要な手紙を書くこと。
- 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。
- 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること。
- 新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較すること。

第3学年

- 関心のある事柄について批評する文章を書くこと。
- 目的に応じて様々な文章などを集め、工夫して編集すること。
- 物語や小説を読んで批評すること。
- 論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと。
- 自分の読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考えること。

■言語活動の充実のために

各学年においては

- 「B 書くこと」にかかわる言語活動では
 - だれに向けて何のために書くのかなどという意識をもち、目的や意図に沿うように工夫して書くことができるように指導する。
- 「C 読むこと」にかかわる言語活動では
 - 読むことによって何を得て、どう活用するのかという意識をもち、本や文章などの内容や形態に応じて読むことができるように指導する。

5 課題の解決に向けた授業改善を行いましょ

指導内容や指導のポイントなどを踏まえ、次のような授業アイデア例を参考にするなどして、理由を明確にして自分の考えを書くことができるようにしましょう。

指導のねらい

書かれている情報を的確に関連付け、それを基に自分の考えを論理的に書くことができるようにする。

調査問題の概要

B1三 二つの「ピクトグラム」を比べ、どちらを採用するのかを理由とともに、三文で書く。

授業アイデア例

★平成23年度全国学力調査問題にかかわる「授業アイデア例」（中学校国語）参照

学習の流れ

募集要項と標語を読み、それぞれの標語のよさや特性などについて考える。
(第1時)

募集要項にある目的や応募条件を適切に引用しながら、標語を批評する文章を書く。
(第2時)

標語を批評する文章を互いに読み合い、表現の仕方などについて評価する。
(第3時)

(言語活動) 募集要項に基づいて、応募された標語を批評する文章を書く。

第2時の流れ

① 標語を批評する文章の書き方について理解する。



「あいさつ標語」を決定するために、標語を批評する文章を書きます。批評とは、対象とする事柄のよさや特性、価値などを論じたり、評価したりすることです。応募された標語と、募集要項にある目的や応募条件とを照らし合わせて考えてみるとよいですね。

私は、Aの標語がよいと思います。応募条件①にある「地域の人々とのつながり」を「つながる広がる」という言葉で表現しているからです。



Bの標語の「街も気持ちも クリーンに」は、生徒会が行っている「地域清掃活動」と、今年から取り組む「あいさつ運動」との両方を含んだ表現になっています。



募集要項にある目的や応募条件を引用して、どちらの標語を選ぶか分かるように書きましょう。その際、両方を比べて批評すると、より説得力が増しますよ。



② 150字以上、200字以内で標語を批評する文章を書く。

<批評する文の例>

<p>(文章 b)</p> <p>Bの標語では、募集要項の目的にある「地域清掃活動」と「あいさつ運動」という二つの生徒会の取り組みを、「街も気持ちも クリーンに」という言葉でうまく重ね合わせて表現している。この表現は、応募条件にある「これまでの生徒会の活動と関連付けられるもの」も満たしている。だから私は、Bの標語がよいと思う。 (165字)</p>	<p>(文章 a)</p> <p>私は、Aの標語がよいと思います。応募条件には「地域の人々とのつながりを印象付けるもの」と示されており、それを「つながる広がる」という言葉で表現しています。Bの標語では、心が「クリーン」になることが示されていますが、「地域の人々とのつながり」を表現するものではありません。また、Aの標語は「地域の輪」という表現によって、学校と地域を一つにしようという思いが伝わってきます。 (186字)</p>
---	---

<教材例>

<p>標語の募集要項の例</p> <p>「あいさつ標語」を募集します！ 第一中学校生徒会</p> <p>◆ 目的 生徒会では、地域清掃活動に取り組んでいます。今年は、地域の人たちとの連携をさらに図るために、あいさつ運動も行おうと思います。そこで、「あいさつ標語」を募集します。</p> <p>◆ 応募条件 ① 地域の人々とのつながりを印象付けるもの。 ② これまでの生徒会の活動と関連付けられるもの。 ③ 具体的な言葉で分かりやすく表現されたもの。 ④ 文字数は30字以内とする。</p> <p>◆ 募集期間 平成〇年〇月〇日から〇月〇日</p>	<p>○ 応募された標語の例</p> <table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>あいさつで 街も気持ちも クリーンに</td> <td>地域の輪 つながる広がる 交わす言葉で</td> </tr> </table>	B	A	あいさつで 街も気持ちも クリーンに	地域の輪 つながる広がる 交わす言葉で
B	A				
あいさつで 街も気持ちも クリーンに	地域の輪 つながる広がる 交わす言葉で				